

	号外	定価 1部2円	一戸町議会議選 (11/10 投開票) 峠 勇夫さんを推 薦決定！知人へ の声かけを！
	昭和34年4月1日 第3種郵便物認可	発行所 盛岡市内丸10番1号 岩手県庁内	

13 確定闘争情報 - ⑧

県職労が今秋2度目の人事課交渉

5級の半数が最高号給 課題意識ある 増額補正も考える 超勤手当予算

県職労は10月31日、大槻人事課総括課長と交渉を行い、地公共闘課題に関わる県職労としての要求や、職場における独自要求課題の改善を求めた。

大槻課長からは、5級の最高号給到達者の割合が高いことについて「勤務意欲の観点からも課題意識を持っている。引き続き検討していく」ことのほか、超勤予算についても「所要額を精査し増額も考えたい」と、職場の実態に応じて前向きに対応していく考えを引き出した。交渉の概要は以下のとおり。

県職労は次回交渉を8日に設定している。震災復興業務をはじめ、安心して職務に専念できる職場環境づくりのため、引き続き当局に改善を求めていく。

〇〇〇 50歳台後半層の昇給抑制 〇〇〇

《県 職 労》特定年代層に限った公民比較という問題点や、勤務意欲減退の懸念がある。抑制は反対だ。

【大槻課長】人事委員会報告の尊重が基本だが、他県の動向も見ながら検討を進めていく必要があると考えている。

《県 職 労》55歳前に最高号給に達する県職労独自の課題解決が先であり、再考を求める。



〇〇〇 現給保障の継続 〇〇〇

【大槻課長】来年度末での廃止について、人事委員会が報告しており、これを尊重しつつ、他の都道府県の動向等も注視しつつ検討を続けていく。

《県 職 労》適用者の状況は？

【大槻課長】知事部局における適用者は511人。うち既に最高号給到達者は386人。適用者の最高額は27,530円、平均は9,200円程度となっている。

《県 職 労》最後の一人まで保障すべき。

〇〇〇 通勤手当・夏季休暇の改善 〇〇〇

《県 職 労》ガソリン価格が高騰している。新幹線通勤者も自己負担がある。改善の考えは？

【大槻課長】手当改定は条例改正を要するため、人事委員会の勧告が前提になると考えている。

人事委員会では「交通用具通勤者が手当支給額の範囲内に概ね収まっている」としている。

《県 職 労》夏季休暇「4日」は他県に比しても少ない。改善を求める。

【大槻課長】復興を着実に進めていくためにも、その原動力となる職員の健康保持、リフレッシュの観点からの休暇制度改善の課題意識は持っている。なお、夏季休暇を完全取得している職員は、震災直後の2012年を除いて9割以上となっている。

《県 職 労》それだけ、特別休暇の意味合いが大きいということ。引き続き検討を求める。

〇〇〇 行政職5級の最高号給者の解消 〇〇〇

《県 職 労》5級在職者に占める最高号給者の割合がまだまだ高い。どう解消していくか。

【大槻課長】5級最高号給者の割合は5割以上であり、職員の勤務意欲の観点からも課題意識を持っている。引き続き検討して参りたい。

〇〇〇 超過勤務実態と超勤予算の確保 〇〇〇

《県 職 労》人事委員会は、超過勤務について「依然として高い水準にある公所がある」と言及している。今年の実態をどのように把握しているか。

【大槻課長】上半期での速報値ではあるが、全庁の平均では一人当たり11.1時間と、前年度と同水準。本庁・出先ともに農林水産部門・土木部門で高い水準となっている。

《県 職 労》実態に応じた手当支給のためにも、12月議会での予算増額が必要ではないか。

【大槻課長】今年度は、上半期の時点で年間予算の大半を配分した。例年より早めに9月から不足見込み額を部局に聴取している。所要額の精査をしながら予算増額も考えていきたい。

〇〇〇 その他の労働条件改善 〇〇〇

《県 職 労》昨年来、公共交通機関を使えない深夜等における災害対応時の自家用車使用に伴う自己負担について対策を求めてきたが、検討状況は？

【大槻課長】昨年11月に、総合防災室からも通知されているが、各職場でも参集体制について検討いただくとともに、その上で不都合な状況等は、引き続きお話を伺いながら対応していく。

《県 職 労》沿岸地区の住環境の確保や長距離通勤者の解消策を求めてきたが、検討状況は？

【大槻課長】遠野から釜石への遠距離通勤のケースに対し、来年4月から利用できるよう、釜石市内に、仮設公舎の整備を進めている。他の地区についても引き続き状況を聞いていく。

《県 職 労》原発事故の除染対応で、業務量増と健康不安を抱えている。欠員補充と健康診断等を求める。

【大槻課長】実際に話を聞かないと分からない実態を教えていただいた。よく研究していく。